

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL:保木本 西 奥山 池田 花本 木村

2. 山行スタイル

沢登

3. 目的

沢を楽しむ

4. 山域／ルート

鈴鹿 神崎川

5. 交通手段

自家用車

6. 行動記録

< 入山日 2024年6月15日(土) 下山日 6月15日(土)>

6月15日(土)

駐車地出発 9:30 → 入渓 10:30 → S字終了 12:00 → 天狗の滝 14:00

→ 林道 16:00 → 駐車地 17:00

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

梅雨入り前だったせいかかなり水量が少なかった。普段ロープを出すところもロープ出さず。
ランニングとるところの支点がかかなり上方にあり。普段きていた時より水量が1mは低い印象。



9. 感想

保木本

ここ最近来ていなかった。泳ぐ沢としてはちょっと季節は早かったが楽しめた。ただ、昼からかなり寒くなったのは想定外。あと、S字のところも水量が少なすぎてまっすぐいけるのもかなり想定外。梅雨入り前はこんなものか？

西

神崎川は、大好きな沢の1つだ。
白い花崗岩の明るい沢で、エメラルドグリーンの美しい長瀬が印象的だ。

そして、思いっきり水と遊ぶことができる。

でも、泳ぎが得意でなく、小柄な私には苦手な沢でもある。水量によっては、流されたり激流に足をとられたり、大岩が超えられなかったりする。

幾度となく来ているが、この日の神崎川の水量は今まで見たことのない少なさだった。

おかげでいつも巻いていたところを泳いで突破するというチャレンジができた。木村さんの長い手足を羨ましいと思う場面が幾度もあったが、自分の身の丈にあったル

ートを行けばいいし、お助け紐で助けてもらっても良い、それが沢の楽しいところだと思う。水の流れを見ながらルート取りをしたり、存分に泳ぐ沢を楽しんだ。入渓した時は暑くて、水が心地よかったが午後からはひんやりした風になり寒くなった。太陽であったまった岩に抱きつき暖をとったりしたが、その太陽も隠れると一気に寒くなった。「沢下りをしようか」

などと言っていたが、寒さのため、帰りはいつも通りの林道下山となった。

神崎川は、やっぱりきれいな沢だと思う。みなさん、また一緒にください。

ホッキー、いつも運転と装備ありがとう！今回も無事に楽しめました。



奥山

初の神崎川、だいぶ水が少なくジャンプできなかったのが悔やまれますが、その分初心者には安全で快適な沢登りでした。次はもう少し水量が多い時に来たいと思います。午後から急に冷えてきたのでそこは驚きで急な体温低下に気をつけないとな、と改めて思いました。



池田

久しぶりの神崎川。随所でそういえばこんなところもあったなあと、おぼろげな記憶を思い返しながらの遡行だった。道中の永源寺のダム湖は半分くらい干上がっていて、水が少ないのではと言っていたら予想通りで、ここを通ったはずというルートは頭上のはるか上。軽く1mは水位が低い状態だった。後半の泳ぎですっかり身体はヒエヒエに。午後からの気温の低下も手伝って、駐車場まで汗をかくこともなく終えられた。しっかり記憶にも残っていたが、やっぱりアプローチが長い。杉道では山ヒルにやられたので、行かれる方は気を付けて！



花本

週間予報では天候悪くあきらめかけていたが次第に好転し決行となった。

昨年の沢教室実技 2 回目が神崎川だったがあいにくの雨天で中止になり今回はそのリベンジ。駐車場からは林道を歩き発電所の取水堰堤から入渓する。

話には聞いていたが一度取水堰堤にはまらなないと先に行けない。覚悟を決めて水の中に入る。水は冷たいが水量も少なく流れも穏やかなのでなんとか堰堤に上がった。

沢に進むと白い花崗岩で明るく水もそこそこ綺麗だった。水量は少ないがそれでもところどころ淵があり泳ぎの沢を楽しむこともできた。

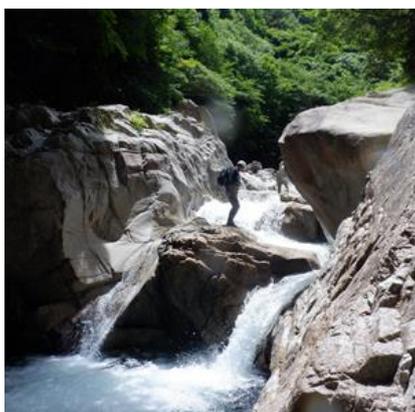
普段の水量だと結構大変そうだがまた行きたいと思う。

リーダーの保木本さん参加の皆様ありがとうございました。



木村

時期的に寒いと思い、上下ウエットスーツを着用しました。アプローチの林道歩きが暑くて大変でした。水量が少なかったため、積極的に泳ぎや小さいギャップを越えて進みました。昼食時には脱渓前には釜にしっかり浸かって体を冷やすようになって笑っていましたが、午後から空気がどんどん寒くなりました。長瀬と天狗滝の釜は土砂でかなり埋まっていました。岩が白くて水がきれいなため、渓相はとても美しいです。水量が少なかったため快適に楽しめました。



報告者氏名 保木本 真人 2024 年 6 月 24 日